



今日から2学期が始まり、子供たちが元気いっぱい、とっても張り切って登校してきました。子供たち自身で大切な命を守り、こうして会うことができ、嬉しく思います。保護者の皆様には、心より感謝申し上げます。2学期は大きな学校行事等もあり長丁場ですが、よろしくお願い申し上げます。

プログラミングツール「MESH」で探究

本校では、令和3年度より、～情報活用力・言語力・課題解決力を働かせた探究的な学びを通して～【**創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童の育成**】に重点を置き、教育活動を展開しております。(詳しくは[学校ホームページ](#)へ)

今年度は、一人一人の課題解決「やってみたい」を、ソニーのプログラミングツール「**MESH**」を活用して探究学習を深めていきます。探究する過程に、人感センサー・温度センサー・リモートコントロールなど様々な機能と連携したプログラムを作り、「あったらいいな」「できたらいいな」の実現にチャレンジしながら、実社会や生活、身の回りの課題を解決する思考力や新しい仕組みを生み出す創造力を伸ばしていきます。



コロナ禍で明らかになった「探究」の価値

ところで、「探究」って何でしょう？ 分かるようで分かりにくい概念かと思います。小学館の「生活・総合の新しい授業づくり:探究的な学びを実現する(2023/4/18)」に、大変参考になるお話がありましたので、(教員向けの内容ですが…) その一部を引用して紹介させていただきます。

國學院大學教授 元文部科学省視学官 田村 学

新型コロナウイルス感染症に対応する中で明らかになってきたことは、未知の状況において、自らの知識を活用・発揮しながら、柔軟に対応できる人材こそが、社会で活躍し社会を創造していくことである。目の前に広がる未知の状況や問題状況を解決するために、異なる多様な他者と協働しながら、自らの知識を自在に活用・発揮していくことが期待されている。

これからの社会で求められる学びは、まさに「探究」である。学びを「探究モード」に変革していかなければならない。身近な社会の問題の解決に向けて、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動する力が求められている。そして、そこでは、絶対の正解よりも、納得解や最適解が求められている。そうした学習の繰り返しの中でこそ、未来社会を創造する主体が育っていくのではないだろうか。

そのためにも、自ら設定した課題に対して、自ら学び共に学び、その成果を自らとつなげる総合的な学習の時間における「探究」が重要となろう。あるいは、自らの思いや願いの実現に向けた学習活動を展開する、低学年の生活科における「探究」が欠かせない。

文部科学省初等中等教育局 教育課程課教科調査官 肅藤博伸

【生活科の学習過程】 生活科では、①思いや願いをもつ、②活動や体験をする、③感じる・考える、④表現する・行為する(伝え合う・振り返る)の学習過程を基本にして、単元にふさわしい展開をつくります。この学習過程は、順序が入れ替わることもあります。また、1つの活動の中に複数のプロセスが一体化して同時に行われる場合もあります。時には日常生活の中にも広げながら、何度も繰り返され、一人一人の深い学びをつくり出し、気付きの質を高めていくものでもあります。

【総合的な学習の時間の学習過程】 総合的な学習の時間では、①日常生活や社会に目を向けた時に沸き上がってくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見つけ、②具体的な問題について情報を収集し、③その情報を整理・分析した知識や技能に結び付けたり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組み、④明らかになった考えや意見などをまとめ、表現し、そこからまた新たな課題を見つけ、さらなる問題の解決を始めるといった、活動を発展的に繰り返していきます。この探究的な学習が繰り返される中で、子供の資質・能力が育ち、学習の質がさらに高まっていきます。

東京都「学力向上を図るための調査」の結果から見えてきたことを、学力向上担当の教員が、夏休み中に分析してくれました。「**学びに向かう力、人間性等**」など、4～6年生の児童の意識調査です。児童の実態を把握し、教員のセルフチェック、授業改善に生かすため貴重な資料となります。

子供の粘り強さと自己調整力の見取りと育成

回答は、4:よく分かる(得意) 3:どちらかといえば分かる(どちらかといえば得意) 2:どちらかといえば分からない(どちらかといえば得意ではない) 1:ほとんど分からない(得意ではない)の四択です。

60以上の設問がありますので、ここでは抜粋のみですが、校内3学年全体と東京都と比較した時、やや高い項目もあるものの、かなり低い項目も目立ちます。そこが、**今後の授業改善等のポイント**です。

学習の動機	校内割合(%)	都全体との比較
友達や先生と学習するのが楽しいから。	85.3	+2.5 ↑
学校の学習で人に負けたくないから。	36.6	-9.0 ↓
自分の学習の進め方	校内割合(%)	都全体との比較
集中して学習に取り組んでいる。	89.1	+1.9 ↑
分からないときは、他の人や先生に質問して解決している。	83.3	+7.1 ↑
学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている。	53.8	-10.0 ↓
どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している。	66.7	-10.5 ↓
答えだけではなく、考え方も確かめながら学習している。	66.6	-10.4 ↓
家庭での学習習慣	校内割合(%)	都全体との比較
学校以外で、月から金曜日まで、毎日およそどのくらいの時間、学習をしますか。	28.8	-14.9 ↓
自分で計画を立てて学習している。	54.3	-16.7 ↓
学校の授業での(先生の)指導の工夫	校内割合(%)	都全体との比較
他の教科の授業で学習した内容を生かして考える時間があると思う。	72.5	-5.3 ↓
自分が理解したことや考えたことを他の人や先生に説明する時間があると思う。	76.3	+1.4 ↑

【全体のまとめ ～授業改善に向けて～】

- 「友達や先生と学習するのが楽しい」、「分からないときは、他の人や先生に質問して解決している」などが肯定的な回答の割合が高い。
 - ➡ 人と関わることに前向きな富士見の子の良さが分かる。
 - ⇒ その良さを生かして、友達のよい点を取り入れたり、相談して考えを深めたりするなど、高め合う関わり合いを意図的に設定していく必要がある。
- 「学習の進め方」が全体的に低い。
 - ➡ 主体的に学習に取り組む態度にあたる重要なポイントである。
 - ⇒ 教員が意図的に評価し、子供たちに価値付けていく指導が必要である。
- 「自らの学習を調整しようとする力」も課題。
 - ➡ 出された宿題に取り組むだけでなく、家庭学習の習慣の定着が課題である。
 - ⇒ 自分で計画を立てて家庭学習に取り組む実践を考えていく必要がある。
 - ⇒ 間違えた問題への取り組み方を指導していく。どこで間違えたか確かめる。類似問題に取り組む。

**学びに向かう力・人間性の価値づけ
チェックリスト(令和5年度版)**
粘り強さと自己調整力をどのように見取っていくか？

- 1 確実にできるようになるまで、繰り返し練習している
- 2 難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる
- 3 分からないことがあっても、学習を続けている
- 4 学習をしてもわからないときは、どうするかを工夫している
- 5 分からないときは、友達や先生に質問して解決することができている
- 6 分からないことがあればすぐに調べるができている

以上の6観点で児童の「学びに向かう力・人間性」を見取るのはいかがでしょうか？これをもとにした価値づけ・声掛けを日々の授業で実践できるといいですね！

結果を踏まえて、教員のセルチェック表を作成中。これはまだ試案↑ 教員の知恵を結集して改善していきます。

学校安全教室指導者講習(東京都教育委員会)に本校の教員が参加し、校内で報告会を開催。そこから子供が「自分で自分の命を守るポイント」を紹介します。交通安全にお役立てください。

子供の危険予測・危険回避能力の育成

前提として

子供の特性

子供は、【危険予測】(どこが危ないか、どう危ないか)が、出来ません。
子供は、【危険回避】(どうすれば安全なのか)が、分かりません。

大人の傾向

→ 心配だから … ?

子供に先立って、大人が守ってあげているだけでは、子供の行動は変容しません。
子供に、こうしなさい、こうしてはダメ、と教え込むだけでも、資質・能力は育ちません。

低学年(自己中心性の段階)

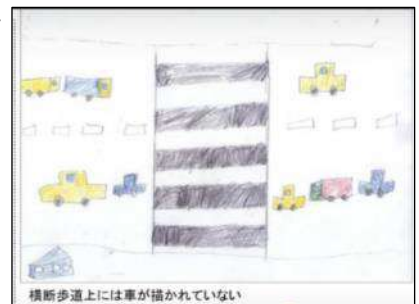
低学年の子は、「横断歩道上は安全」という間違っただ感覚を持っています。

低学年の子が描いた絵には、横断歩道上に車がありません。→ →
「横断歩道の上は安全」だと思っているからです。
「車は止まってくれるもの」と思い込んでいます。

⇒ 自分で危険を予測し、判断できるように、横断する時の行動基準(止まる、見る、確かめる)を身に付けることが大切です。

⇒ 学校では、横断歩道があっても、青信号でも、大人が歩いていてもすぐに渡らずに、自分自身で「車を確認する」「運転手とアイコンタクトする」を、繰り返し、繰り返し、教えています。

⇒ でも、言葉のみの学習ではダメ。日常生活の中で手本を見せる、真似る、の繰り返しが重要です。



中学年(安全マップ)

安全マップの取組は、「危険回避能力」を育みます。

- 実際に歩きながら、安全な場所、危険な場所や注意が必要な場所を一つ一つ自分たちの目で確認し、地図に書き込んでいきます。
- 様々な視点で地域を見つめ、子供自身が発見し、考えることで、防犯力や危険回避能力を向上させる学習です。
- 低学年へ発表したり、保護者と共有したり → 非常に効果的
 - ・ 低学年の学習として、運転者・地域住民の視点として。
 - ・ 低学年への発表は、表現力、他者理解の視点も育成できます。



中高学年(危険予測と一般化)

中高学年の子は、「危機管理能力」を一層高める時期です。

- ① 通学路の写真や動画を見せながら「どんな危険があるか?」「どうすれば安全に通行横断できるか」等を考えさせます。
⇒ 右の写真は、昭和病院方向へ、信号機のある横断歩道と、信号機のない横断歩道が並行しています。本校から歩いていくと信号機のない横断歩道となり、とても危険な場所です。
- ② 他の場所の場面を提示し、場面々々に応じた危険予測、回避の応用力を身に付けます。



通学路の安全点検の機会としてください

7月の集団下校では、通学路の安全確認しながら下校しました。9月5日(火)の引き渡し訓練の際も、交通安全(事故になりそうな場所は?)、不審者対応(事件に巻き込まれやすい場所は?)、震災対応(地震発生時に危険な場所は?)等、お子さんと確認しながら下校願います。

<9月の行事予定>

※ 予定は変更になる場合がございます。

まちこみメール等でお伝えしますので、ご確認よろしくお願いたします。

日	曜	給食	朝	行 事 予 定	授業時数					
					1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	×	特	始業式	4	4	4	4	4	4
2	土									
3	日									
4	月	○	長、モ	給食始 身体測定・保健指導 さくら保護者会（講演会） きこえ通級始	4	4	4	4	4	4
5	火	○	避	避難訓練 05（引き渡し訓練） 13:40～	4	4	4	4	4	4
6	水	○	モ	委員会活動 05 ③④芸術鑑賞教室	4	4	4	4	5	5
7	木	○	作		5	5	6	6	6	6
8	金	○	モ	寺子屋	4	4	4	5	5	5
9	土			「未来をひらく」発表会						
10	日									
11	月	○	安、モ		4	5	5	5	5	5
12	火	○	コ	大空指導開始	5	5	6	6	6	6
13	水	○	特	きこえグループ（きこえ）	4	4	4	4	4	4
14	木	○	作		5	5	6	6	6	6
15	金	○	モ	授業公開 道徳授業地区公開講座 2校時 1～3年 3校時 4～6年	4	4	4	5	5	5
16	土									
17	日									
18	月			敬老の日						
19	火	○	コ	（年間予定表の2年生の生活科見学は、この日はありません）	5	5	6	6	6	6
20	水	○	集	校内研究授業（さくら4組のみ5時間授業）	4	4	4	4	4	4
21	木	○	作	たてわり班活動	5	5	6	6	6	6
22	金	○	モ	寺子屋	4	4	4	5	5	5
23	土			秋分の日						
24	日									
25	月	○	生、モ		4	5	5	5	5	5
26	火	○	コ	社会科見学（3年生） 市内の施設や農園等を見学	5	5	6	6	6	6
27	水	○	集	クラブ活動 05 ことばグループ（きこえ）	4	4	4	5	5	5
28	木	○	作	防災出前授業（4年生） 東京海上日動「ぼうさい授業」	5	5	6	6	6	6
29	金	○	モ	寺子屋	4	4	4	5	5	5
30	土									

下校時刻のめやす 4時間授業…13:30 5時間授業…14:40 6時間授業…15:35

（数字）は学年、丸数字は、授業時間を表しています。例：（5）5年生 ③3時間目

< 学校からのお知らせ >

9月の生活目標 「進んであいさつをしよう」

9月の保健目標 「早寝早起きをしましょう」
グッドモーニング 60分の推進

学校徴収金について

今年度の9月分の教材費の引き落としが9月15日(金)に予定されております。1学期に学年からお知らせした手紙で金額を確認していただき、ご多様とは思いますが、前日の14日(木)までにご入金をしていただきますよう、お願いいたします。

学校固定電話自動音声対応の時間変更について

富士見丘小学校の固定電話(042-541-0055)の自動音声対応(留守番電話)となる時間は、これまで、前日の19時から翌朝の7時30分までとなっておりましたが、9月1日(金)より市内小学校全校で、前日の18時から翌朝の7時30分までと変更になりますのでご承知おきください。

また、学校からご連絡をする際の電話は、発信専用PHSのため、折り返しご連絡をいただく際には学校固定電話へお願いいたします。

ご理解・ご協力をお願いいたします。

< 学年・さくら学級からのお知らせ >

第1学年より **スマイル**

- ・国語、生活、図工の下巻の教科書3冊を配布しました。記名の上、9月11日(月)までに持たせてください。学校で保管します。希望者の方に、絵の具セットを配布しました。これも記名の上、9月21日(木)までに持たせてください。
- ・お道具箱は中身補充の上9月5日(火)までに、タブレット端末、鍵盤ハーモニカは9月6日(水)までに、あさがおの鉢は保護者の方と一緒に9月7日(木)までに、持たせてください。

第2学年より **ステップ**

☆漢字のノートを購入しました。毎日の宿題等で使用します。使い終わりましたら、同じマス目のノートをご購入ください。

☆熱中症予防のため、水筒・帽子・汗拭きタオルを毎日持たせてください。

第3学年より **チャレンジ!**

【社会科見学のお知らせ】

9月26日(火)に、市内の施設や農園を見学させていただきます。この日は、大型バスにのって移動し、お弁当・水筒持参になりますので、ご準備をよろしくお願いいたします。しおりは、後日持ち帰ります。お子様といっしょにご確認ください。

第4学年より **ステップアップ ~ step up!! ~**

■各教科の学習ノートについて

改めて、ノートの罫線や行数を確認し、購入していただくようお願いいたします。

国語：12mm縦罫(罫線入り) その他：5mm方眼罫

■下巻の教科書について

国語・算数の下巻の教科書を配布しました。10月から使う予定です。それまで学校で保管しますので、記名の上持たせてください。

■出前授業について

9月28日(木)に東京海上日動の方による「ぼうさい授業」(出前授業)を予定しています。水害・土砂災害についての学びを深め、命を守る行動について考えていきます。ぜひご家庭でも話題にしていただけると幸いです。

第5学年より **High Five!**

■下巻の教科書について

算数・図工の下巻の教科書を配布しました。10月から使う予定です。それまで学校で保管しますので、記名の上持たせてください。

☆熱中症予防のため、水筒・帽子・汗拭きタオルを毎日持たせてください。

第6学年より **考 動**

*家庭科で制作するトートバッグ注文用の封筒を後日配布します。

代金を入れてご提出ください。

- ・縦型、横型はどちらを選んでも構いません。
- ・トートバッグ以外にも、ご家庭で作りたいものがあれば、一緒にご注文ください。

さくら学級より

【居住地校交流(2回目)】

10月6日(金)は、今年度2回目の「居住地校交流日」となっています。今回も、直接交流をご希望された方のうち、10/6日に交流が可能な方が、各校において1時間の交流活動に参加します。詳細は追ってご連絡しますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

さくら学級の
10月の仮予定

